



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2012年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コヒーアワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 口

◎石叫■

「とびつきり良い笑顔」

今年もヨセミテに行ってしまった。一行十四名である。僕の車には信ちゃん親子が乗ってくれた。彼は今年五月にオレンジ郡教会で開催されたレストラン・シアター「瞬きの詩人・水野源三」の観賞に来て下さった。僕は初めて彼にお会いしたのだが、その時に「ヨセミテに行きませんか。もしご希望だったら、お連れしますよ」と言ったところ、二つ返事で「行きたいです」と応えてくれた。彼の日常は車椅子である。だから彼と一緒にどこまで行けるかは不明であったが、少しでも彼に喜んでもらえるならばと願って出かけたのだった。

七月三十日早朝、彼らに乗せ、それから古谷さんと甥ごさんご夫婦の車を同行して朝の五時前には出発した。いつもキャンプするブライダル・ベール・クリーク・キャンプ場は予約なしで行ける数少ないスポットなので、早く行かないと良い場所が取れない。しかも大所帯なので三箇所のサイトを確保しないと、いけない。途中、ガソリンを入れたり、朝食をしたりで数度の休憩をしたのだったが、お昼前には着いて例年のスポットを確保できた。朝が早かったこともあり、テント設置後に皆で休んで糸山、瀬戸各ファミリーを待つことにした。

次の日、グレイシャー・ポイントへの路上にあるセンチネル・ドームへのトレールを皆で歩くことにした。そこは一時間もあれば往復できる距離だ。もちろん、信ちゃんは一歩と別行動だが、彼も歩行器で行ける所まで彼らについて行きたいという。それは三百メートルもあったであろうか。ごつごつした岩道を一時間以上もかけて、不自由な右足を引きづりながら歩いたのだった。その夜のキャンプ・ファイアーで、彼のお母さんはこう言った、「信ちゃんは皆がトレールを行っていたので、皆に少しでも近づこうとして進んで行きました。信ちゃんがこれほどまでに自分から進んで長い距離を歩いたことはありません。皆さんの大きな励ましがあつたからです」と感動したようすで話してくれた。

信ちゃんは会話が難しいが、その代わりとびつきり良い笑顔で反応してくれる。一緒に歩けないもどかしさに顔が曇って当然という状況でも、終始変わらなずその笑顔で皆を励ましてくれた。今回の旅のハイライトは彼の笑顔だった。

ヨハネ伝に「弟子たちは主を見て喜んだ」(二十・20)とある。死んだと思っていた主イエスが目の前に立っている姿を見た時、打ち沈んでいた弟子たちの心が歓喜したのである。主こそ、まごころなき救い主だと確信できたからだだった。主を見ることが喜びである。とびつきり良い笑顔がそこにあるからだ。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は一九七七年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は一九二一年に創立され、現在は日英両語合わせますと二千名を越える会員になります。

私たちの教会は一八世紀に、英国で始まったジョン・ウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、三世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白といたします。

